

■コメント

1. インフルエンザ

定点当たり3.97人と、前週と比べてやや増加しました。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は4件の報告があり、今シーズンの累計は13件となりました。

なお、第50週の市内の基幹病院2か所(インフルエンザ定点ではない)による迅速診断キット検査結果では、報告のあった61人すべてA型陽性でした。

今後、流行の拡大が予測されます。手洗い・うがいの励行、咳エチケットなど感染予防に努めましょう。

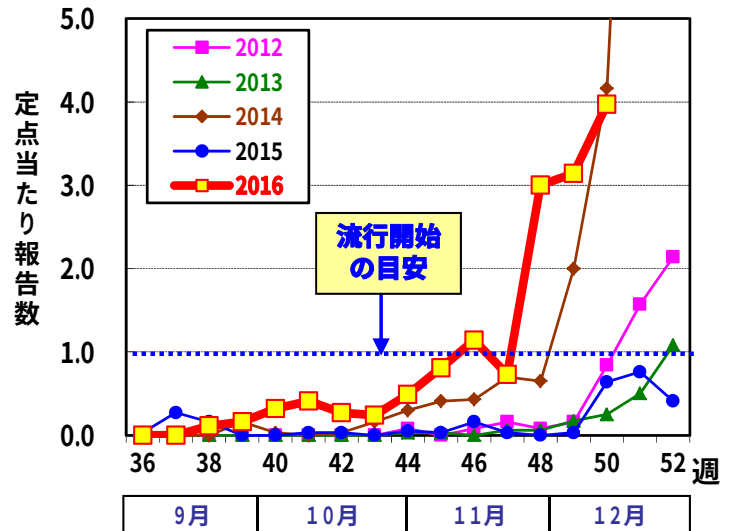
2. 感染性胃腸炎

定点当たり13.1人と、依然として流行が続いています。また、集団発生の報告が2件あり、今シーズンの累計は20件となりました。集団生活の場では、手洗いの励行、便・吐物の適切な処理など、特に徹底した予防対策を講じる必要があります。

3. 梅毒

1件の報告があり、今年の累計は24件となりました。(次頁参照)

インフルエンザの流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	147	3.97	2.47	△	小児科	流行性耳下腺炎	6	0.25	0.87	
	咽頭結膜熱	6	0.25	0.45		小児科	RSウイルス感染症	7	0.29	1.26	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	58	2.42	2.67	△	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.05	
	感染性胃腸炎	314	13.08	14.67	△	眼科	流行性角結膜炎	3	0.38	0.83	
	水痘	12	0.50	1.68		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	18	0.75	0.39	△	基幹	無菌性髄膜炎	-	-	0.11	
	伝染性紅斑	7	0.29	0.48		基幹	マイコプラズマ肺炎	3	0.43	0.74	
	突発性発しん	8	0.33	0.47		基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	百日咳	1	0.04	0.13		基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	4	0.17	0.03							

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	6	142	女性(30歳代)・1人、男性(50歳代)・1人、男性(60歳代)・1人、男性(70歳代)・3人
4	オウム病	1	1	男性(60歳代)・市外
4	つつが虫病	2	12	男性(70歳代)・1人、女性(80歳代)・1人
5	急性脳炎	1	10	女性(10歳代)
5	梅毒	1	24	男性(20歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎	（ロタウイルス） 感染性胃腸炎
報告数	広島市	第46週	42	5	56	591	26	18	7	7	1	6	11	7	-	5	1	-	6	-	-
		第47週	27	6	53	469	12	26	8	10	1	3	5	6	3	1	-	-	6	-	-
		第48週	111	15	81	501	20	14	4	7	-	3	7	12	-	1	-	-	2	-	-
		第49週	116	11	62	389	11	18	2	1	1	2	9	13	1	3	-	-	5	-	-
		第50週	147	6	58	314	12	18	7	8	1	4	6	7	-	3	-	-	3	-	-
定点当たり	広島市	第46週	1.14	0.21	2.33	24.63	1.08	0.75	0.29	0.29	0.04	0.25	0.46	0.29	-	0.63	0.14	-	0.86	-	-
		第47週	0.73	0.25	2.21	19.54	0.50	1.08	0.33	0.42	0.04	0.13	0.21	0.25	0.38	0.13	-	-	0.86	-	-
		第48週	3.00	0.63	3.38	20.88	0.83	0.58	0.17	0.29	-	0.13	0.29	0.50	-	0.13	-	-	0.29	-	-
		第49週	3.14	0.46	2.58	16.21	0.46	0.75	0.08	0.04	0.04	0.08	0.38	0.54	0.13	0.38	-	-	0.71	-	-
		第50週	3.97	0.25	2.42	13.08	0.50	0.75	0.29	0.33	0.04	0.17	0.25	0.29	-	0.38	-	-	0.43	-	-
	全国	第48週	2.49	0.43	2.41	17.37	0.62	0.61	0.13	0.45	0.01	0.12	1.05	0.97	0.01	0.72	0.01	0.05	1.13	0.01	0.02
		第49週	3.31	0.46	2.56	19.45	0.65	0.52	0.13	0.38	0.02	0.09	0.99	0.93	0.01	0.67	0.01	0.03	1.21	0.01	0.05

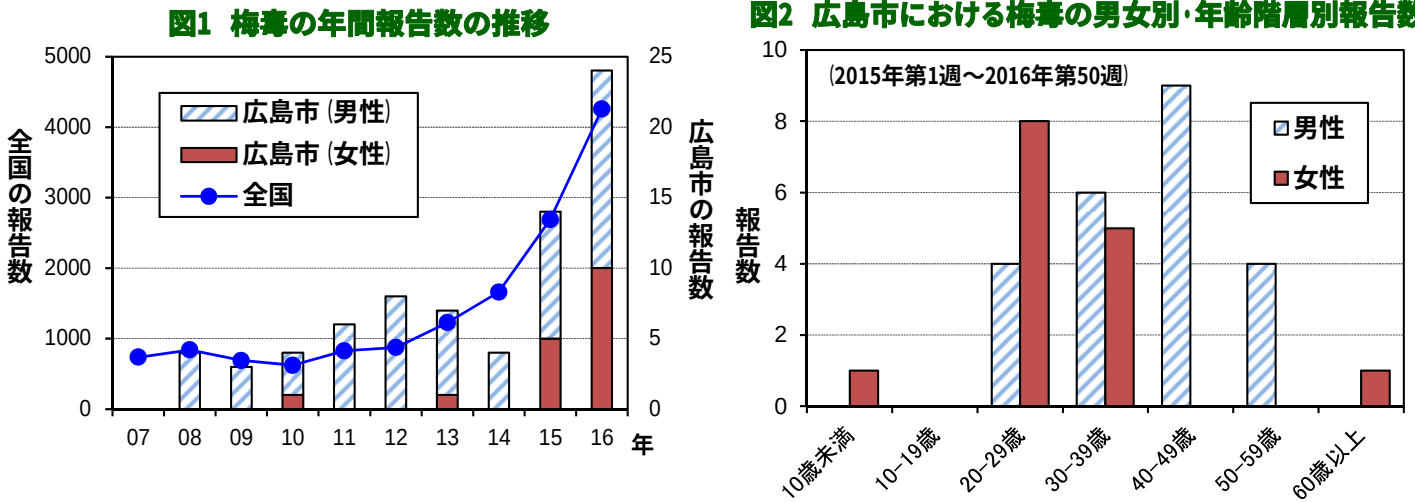
■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎	発熱(38.6) 嘔吐 下痢	5	男	2016/11/09	糞便	ノロウイルスG2
その他の呼吸器疾患	発熱(39.5) 鼻炎	0	男	2016/11/03	糞便	アデノウイルス1型
その他の呼吸器疾患	気管支炎 意識障害	3	男	2016/11/06	咽頭拭い液 鼻汁(拭い液)	ライノウイルス

*感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】梅毒の発生動向について



近年、全国的に梅毒の報告数が増加しています。広島市においても急増しており、2016年は第50週現在で24件と、これまでで最も多くなっています。特に2015年以降、女性の増加が顕著です。(図1)

広島市における2015年第1週～2016年第50週現在の患者の性別は、男性23件(61%)、女性15件(39%)となっています。年齢は、男性は40代が最も多く、女性は20～30代の若年層がほとんどを占めています。(図2)

今後も引き続き梅毒の発生動向に注意する必要があります。感染が疑われる症状がみられた場合には、早期に医療機関を受診し、治療を受けることが重要です。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
 なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
 URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】
 広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
 TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp